

第 6 期第 3 回福岡市男女共同参画審議会（平成 27 年 7 月 6 日）

男女共同参画に関するデータ集

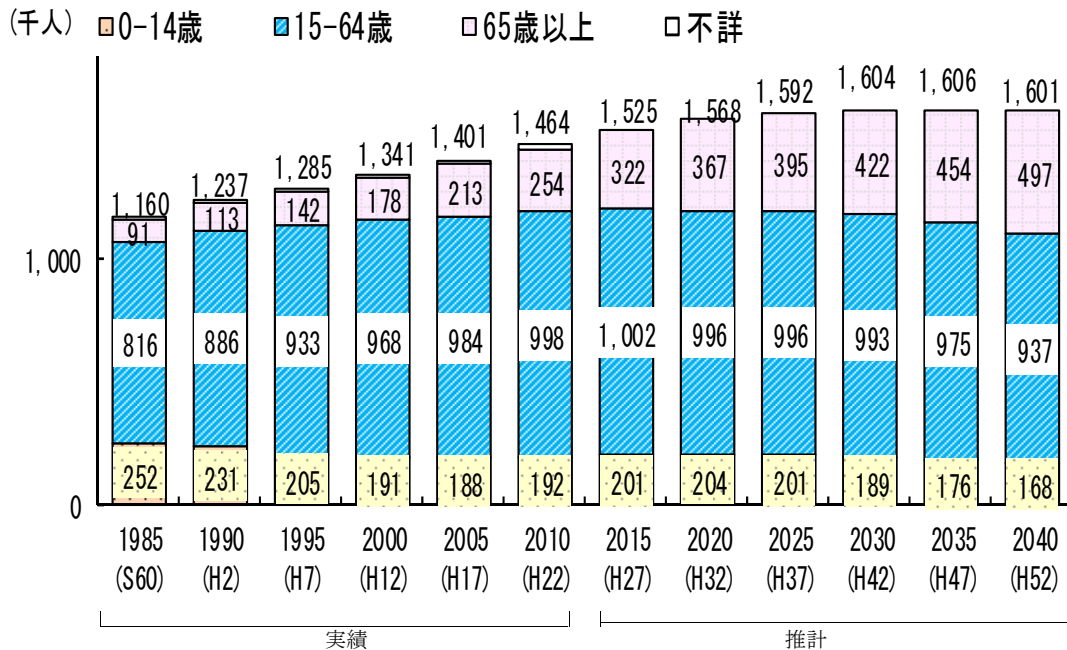
目 次

	項 目	ページ
1	福岡市の人口推移と推計人口(1985年～2040年)	1
2	福岡市の人口・推計人口における年齢構造の変化(1985年～2040年)	
3	人口構成ピラミッド(男女・年齢構成福岡市)	2
4	生産年齢人口における男女構成比	
5	合計特殊出生率の推移	3
6	平均初婚年齢の推移(福岡市)	
7	未婚率の推移(福岡市)	
8	社会全体で見た場合の男女の地位の平等感	4
9	今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うこと	5
10	「男は仕事、女は家庭を守るべきである」という考え方について	6
11	恋人、配偶者、パートナーから暴力を受けた経験について(福岡市)	7
12	暴力を受けた際に実際に取った行動	8
13	アミカス相談室・各区家庭児童相談室・配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数の推移	9
14	恋人、配偶者、パートナーからの暴力について相談できる窓口の認知度(福岡市)	
15	家庭生活における男女の地位の平等感	10
16	男性が育児休業・介護休業・子の看護休暇を取得することについて	
17	仕事と生活などの優先度に関する希望と現実	11
18	1週間の合計労働時間	
19	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度(事業所)	12
20	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度(市民)	
21	民間事業所における女性管理職の割合	13
22	女性活躍推進への取組の推進状況	
23	「女性が職業をもつ」ことについて	14
24	職場における男女の地位の平等感【平成20年調査との比較】	15
25	現在の職場における男女差別の内容【平成20年調査との比較】	16
26	女性の年齢階級別の就業率	17
27	男性の年齢階級別の就業率	18
28	福岡市の審議会等委員への女性の参画状況の推移	19
29	福岡市職員における女性の割合の推移	
30	男女格差を表す指数の国際比較	20
31	地域における諸団体の長等への女性の参画状況(福岡市)	21
32	地域における団体のリーダーに女性が少ない理由について	22
33	過去2年間における地域活動への参加状況	
34	福岡市男女共同参画基本計画(第2次)数値目標・参考指標の推移	23
35	福岡市男女共同参画基本計画(第2次)重点評価項目の数値目標、参考指標の推移	24

福岡市の現状

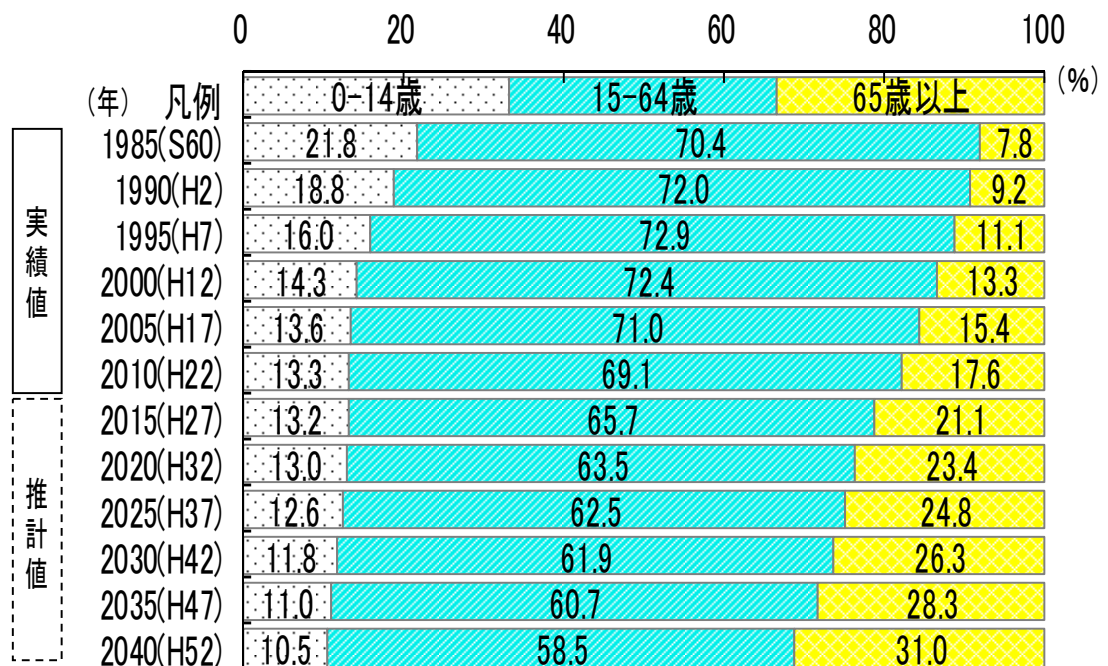
福岡市の人口推移と推計人口

○ 福岡市の人口推移と推計人口（1985年～2040年）



資料: 総務企画局企画調整部 (第9次福岡市基本計画)

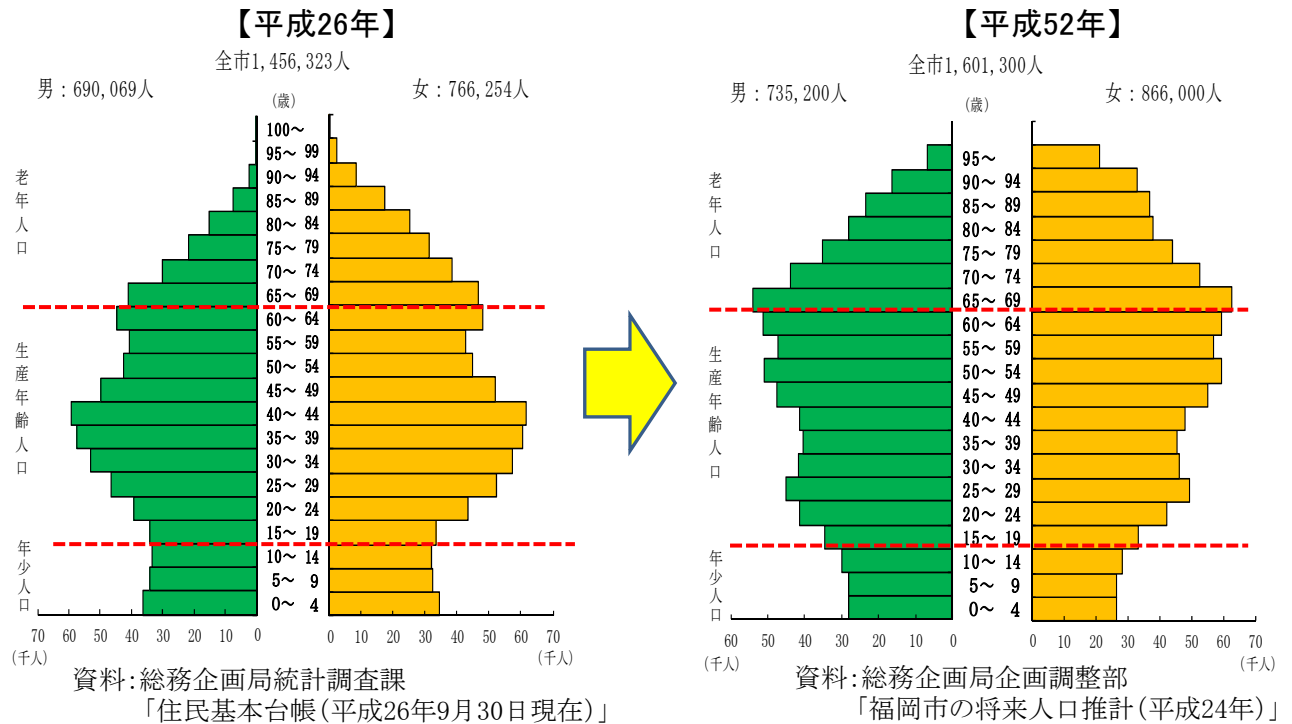
○ 福岡市の人口・推計人口における年齢構造の変化（1985年～2040年）



資料: 総務企画局企画調整部 (第9次福岡市基本計画)

福岡市の現状

○ 人口構成ピラミッド(男女・年齢構成 福岡市)



○ 生産年齢人口における男女構成比

年代	福岡市 (単位：人)		全国 (単位：千人)	
	男性	女性	男性	女性
15～19	39,067 (51.0%)	37,568 (49.0%)	3,109 (51.3%)	2,954 (48.7%)
20～24	48,983 (49.4%)	50,162 (50.6%)	3,266 (50.8%)	3,160 (49.2%)
25～29	49,086 (46.3%)	56,873 (53.7%)	3,692 (50.6%)	3,602 (49.4%)
30～34	53,663 (47.3%)	59,748 (52.7%)	4,221 (50.6%)	4,120 (49.4%)
35～39	58,842 (48.1%)	63,530 (51.9%)	4,950 (50.6%)	4,836 (49.4%)
40～44	50,530 (48.1%)	54,582 (51.9%)	4,400 (50.3%)	4,341 (49.7%)
45～49	44,898 (48.3%)	48,063 (51.7%)	4,028 (50.1%)	4,005 (49.9%)
50～54	41,958 (48.5%)	44,526 (51.5%)	3,810 (49.8%)	3,835 (50.2%)
55～59	45,446 (48.3%)	48,567 (51.7%)	4,287 (49.5%)	4,376 (50.5%)
60～64	48,436 (47.6%)	53,356 (52.4%)	4,920 (49.0%)	5,117 (51.0%)

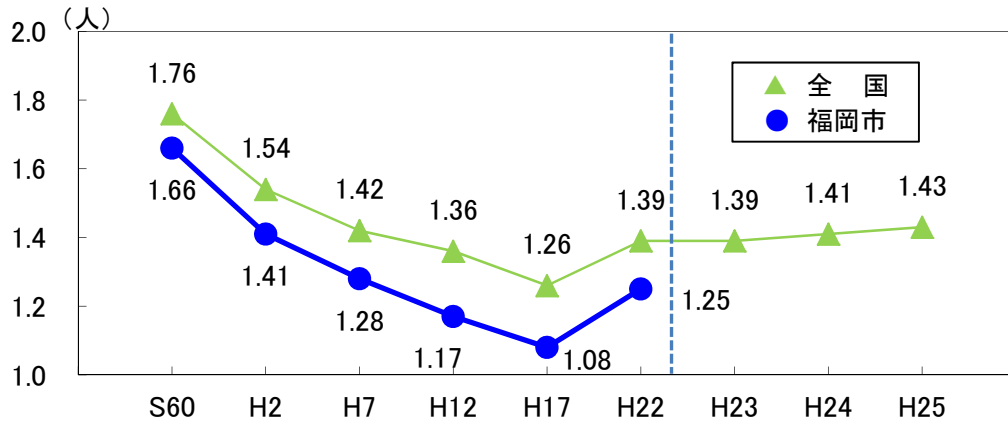
(参考)

全人口	692,648 (47.3%)	771,095 (52.7%)	62,328 (48.7%)	65,730 (51.3%)
-----	-----------------	-----------------	----------------	----------------

資料：国勢調査(平成22年)

福岡市の現状

○ 合計特殊出生率の推移

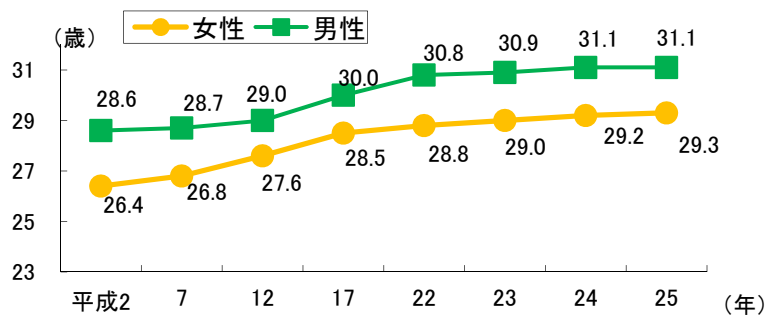


合計特殊出生率: 1人の女性が仮にその年の出産の傾向どおりに一生の間に生むとしたときの子どもの平均数

※現人口を維持するのに必要な水準は2.07

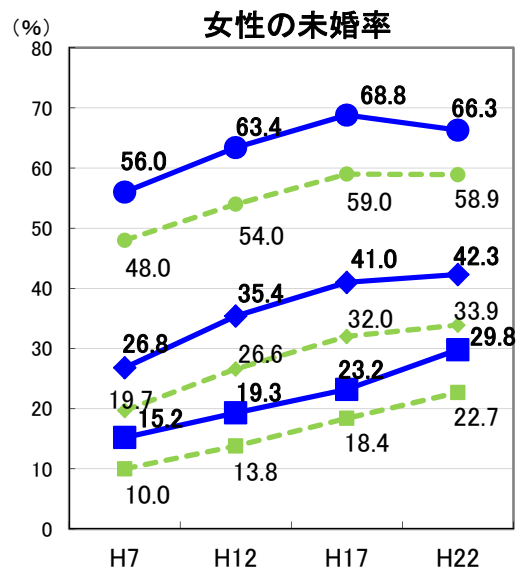
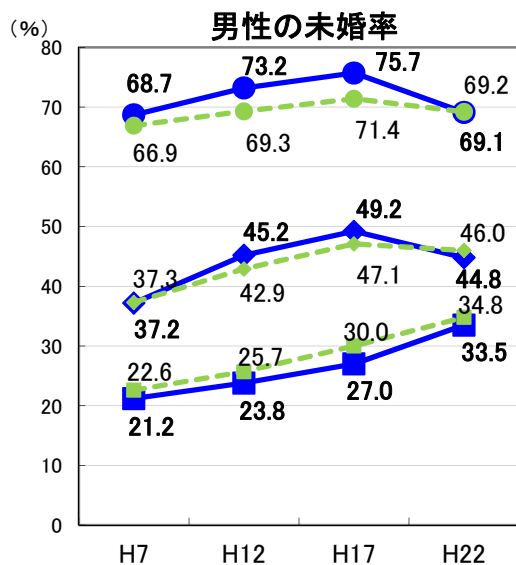
資料: 厚生労働省「人口動態調査」

○ 平均初婚年齢の推移(福岡市)



資料: 厚生労働省「人口動態調査」

○ 未婚率の推移(福岡市)



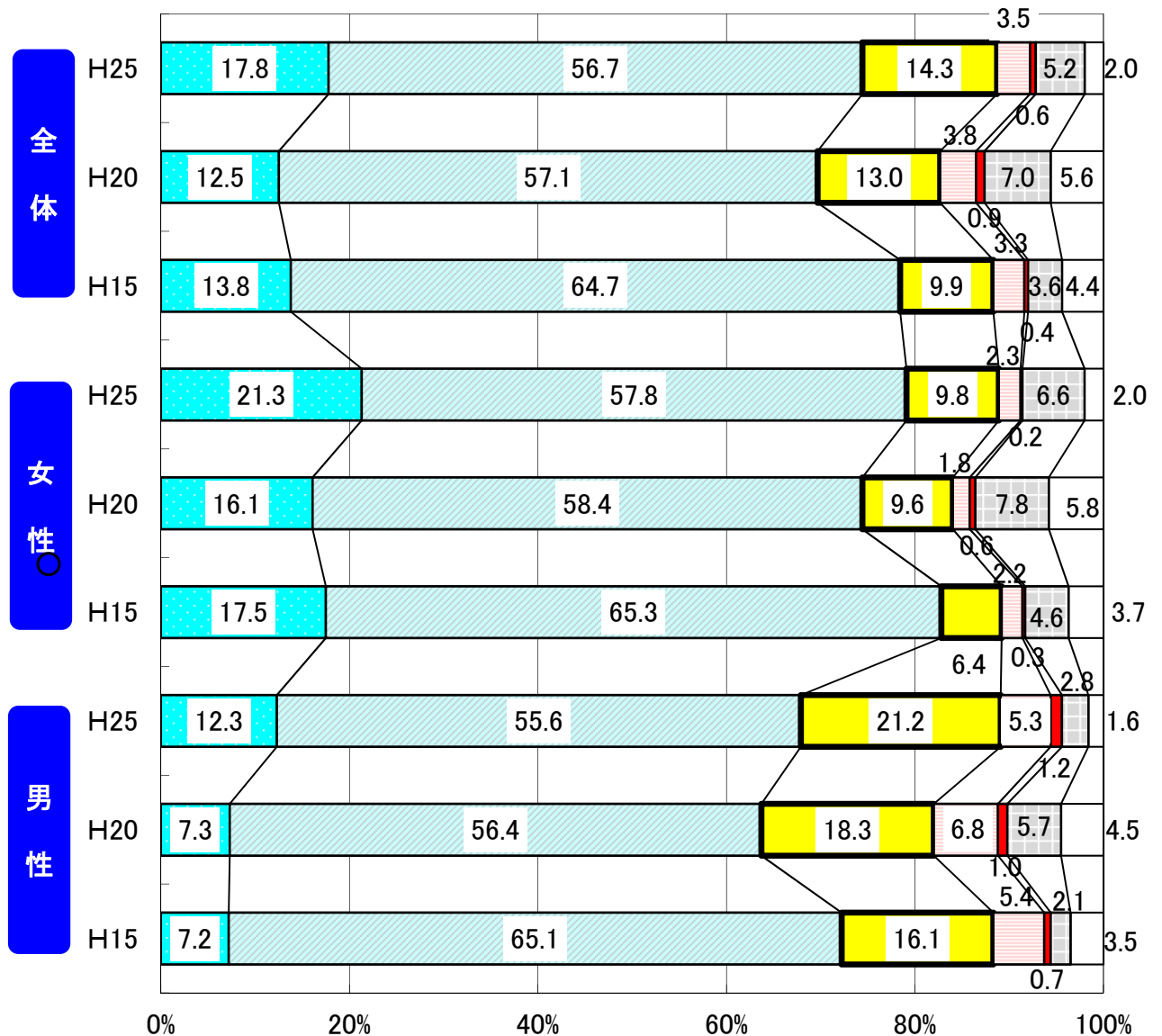
資料: 国勢調査

基本目標 1

男女平等意識が浸透した社会を目指します

○社会全体で見た場合の男女の地位の平等感

- ・平等と感じている人は、男性は増えているが、女性は20年度調査から変わっていない。
- ・男性の方が優遇されていると感じる人は、男性・女性とも平成20年度調査より増えている。



- 男性の方が優遇されている
- 平等
- 女性の方が優遇されている
- 無回答

- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない

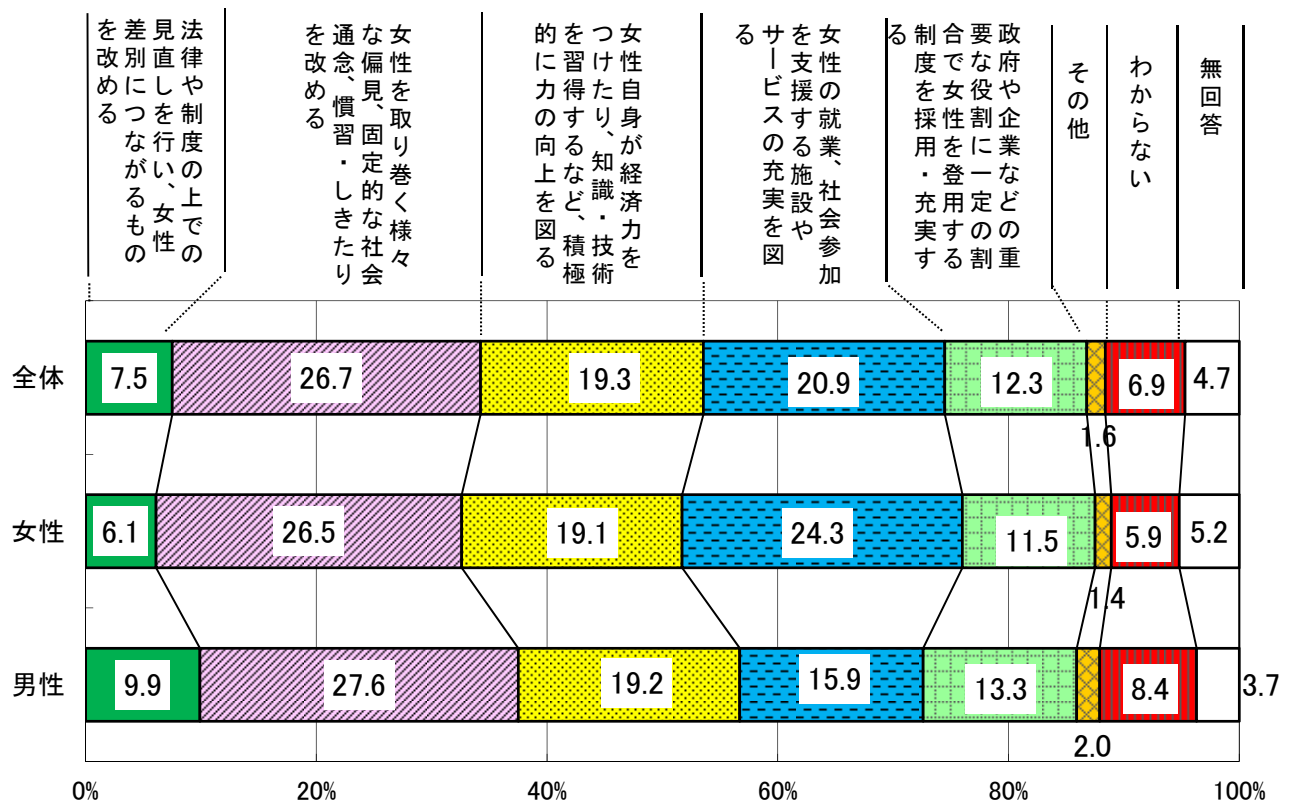
資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査」(平成25年度, 15年度)「平成20年度市政に関する意識調査」

基本目標 1

男女平等意識が浸透した社会を目指します

○今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うこと

- ・男女とも、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改める」が一番多い。
- ・2番目に多いのは、女性が「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」、男性が「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る」となっている。



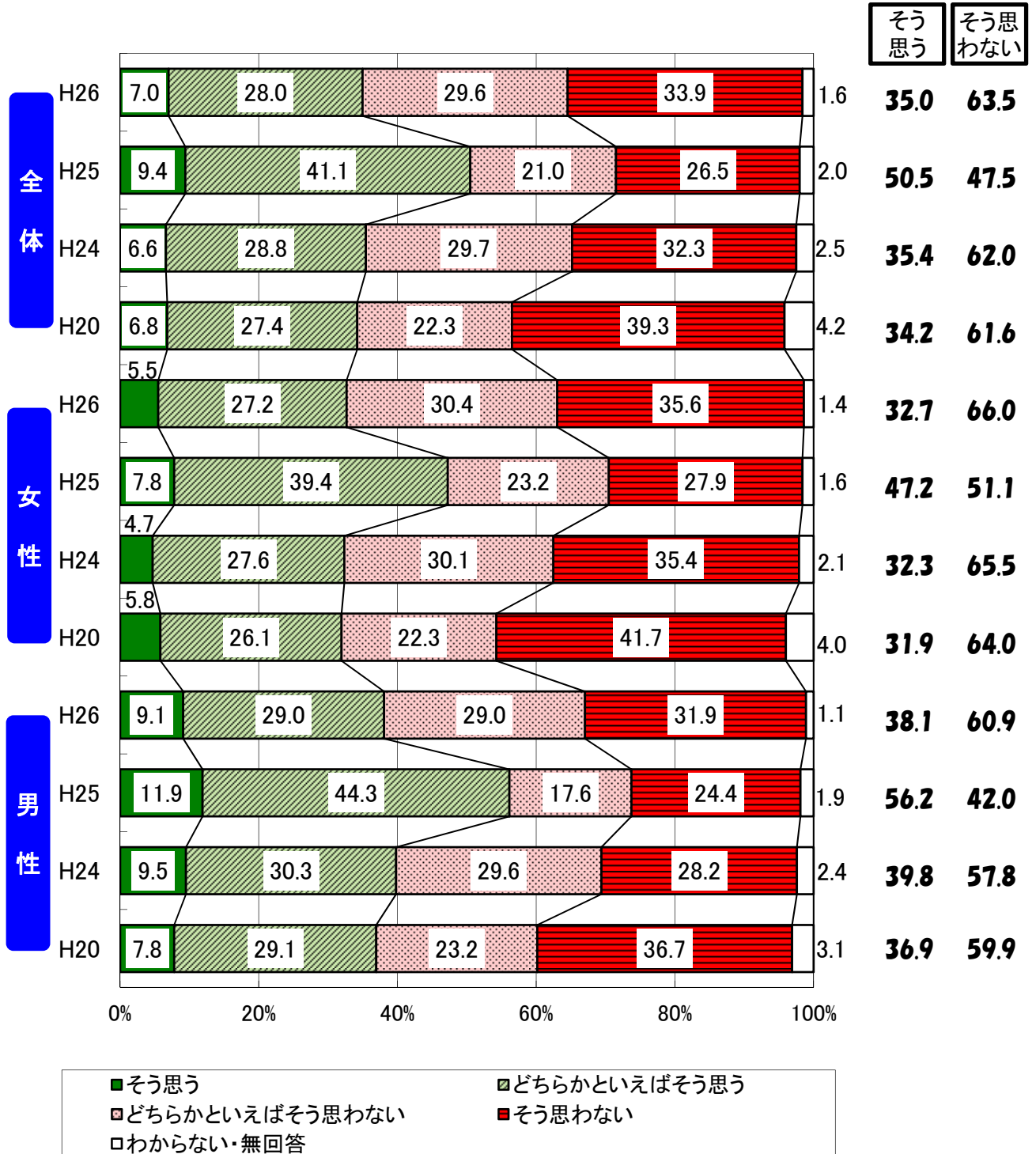
資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標 1

男女平等意識が浸透した社会を目指します

○「男は仕事、女は家庭を守るべきである」という考え方について

・性別役割分担に否定的な人（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答える人）が、平成25年度に一旦減少したものの、昭和61年度の調査開始以来男女とも次第に増えている。



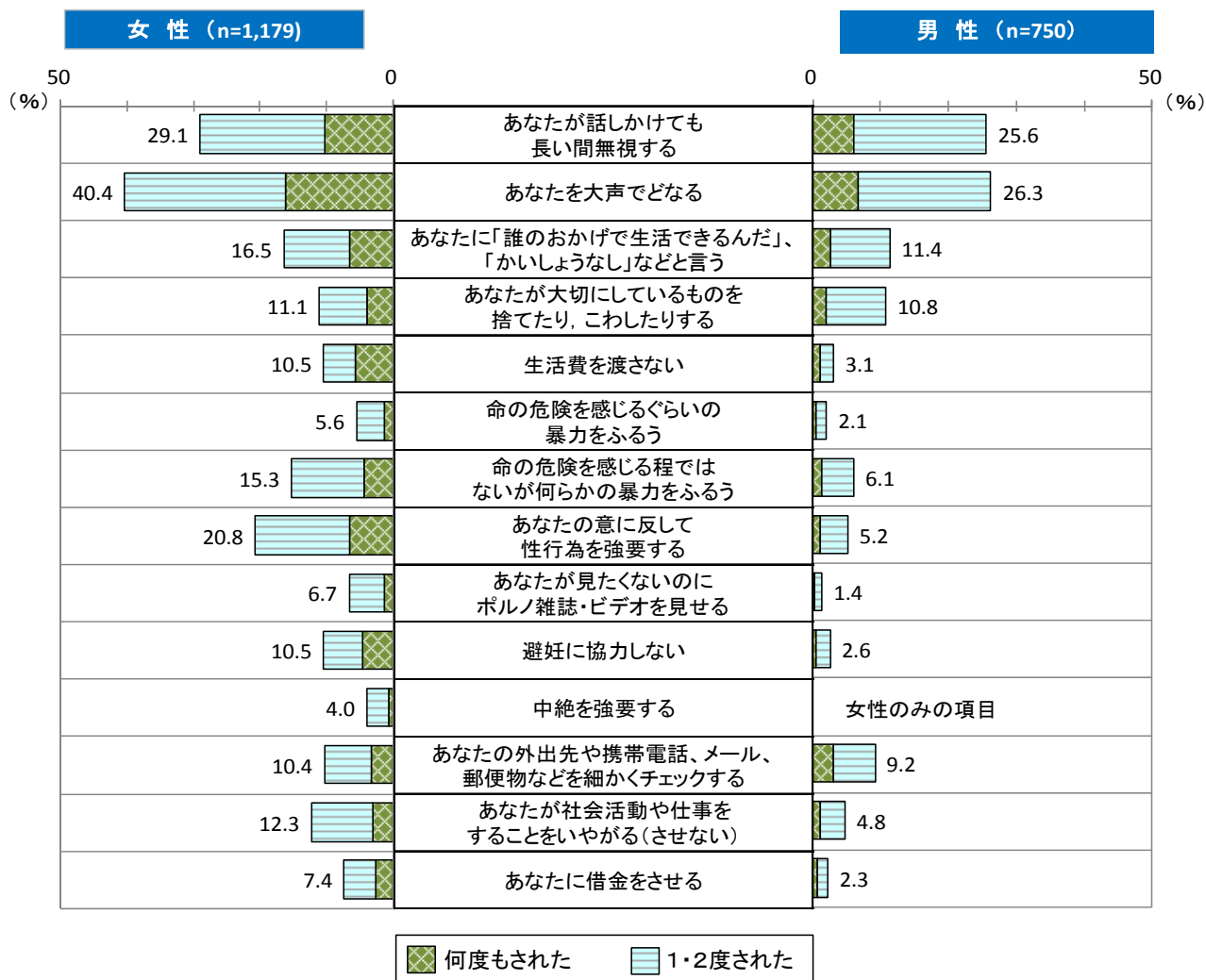
資料：福岡市「基本計画の成果指標に関する意識調査」(26年度, 24年度)
 「男女共同参画社会に関する意識調査」(25年度)「平成20年度市政に関する意識調査」

基本目標2

女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

○恋人、配偶者、パートナーから暴力を受けた経験について(福岡市)

・男女とも、「あなたを大声でどなる」の割合が最も高く、次いで「あなたが話しかけても長い間無視する」の順となっており、いずれも女性の方が割合が高い。



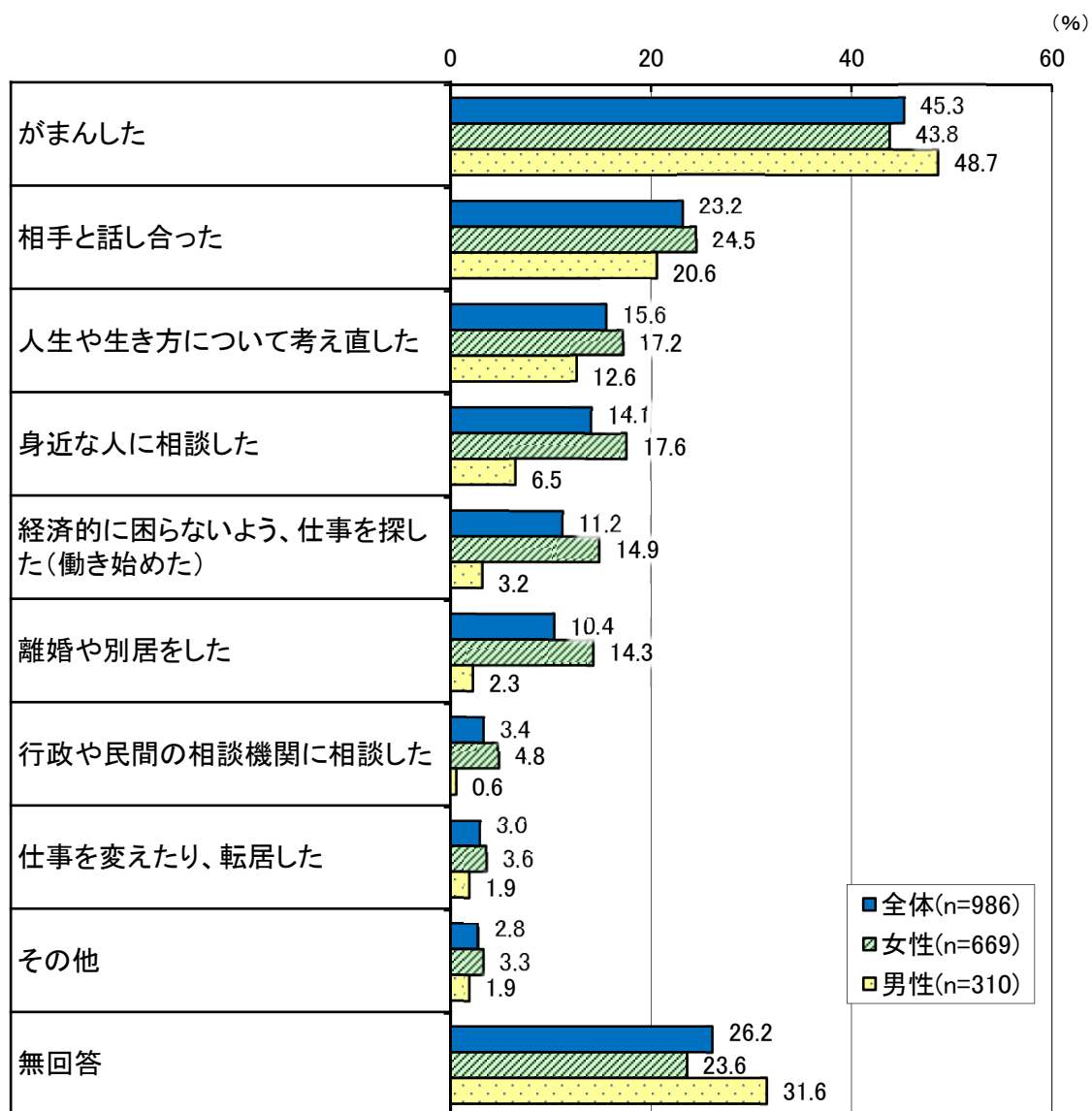
資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標2

女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

○暴力を受けた際に実際に取った行動

・男女とも、「がまんした」の割合が最も高く、次いで「相手と話し合った」の順となっている。



資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標2

女性への暴力が根絶され、男女の人権が尊重される社会を目指します

○アミカス相談室・各区家庭児童相談室・配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数の推移

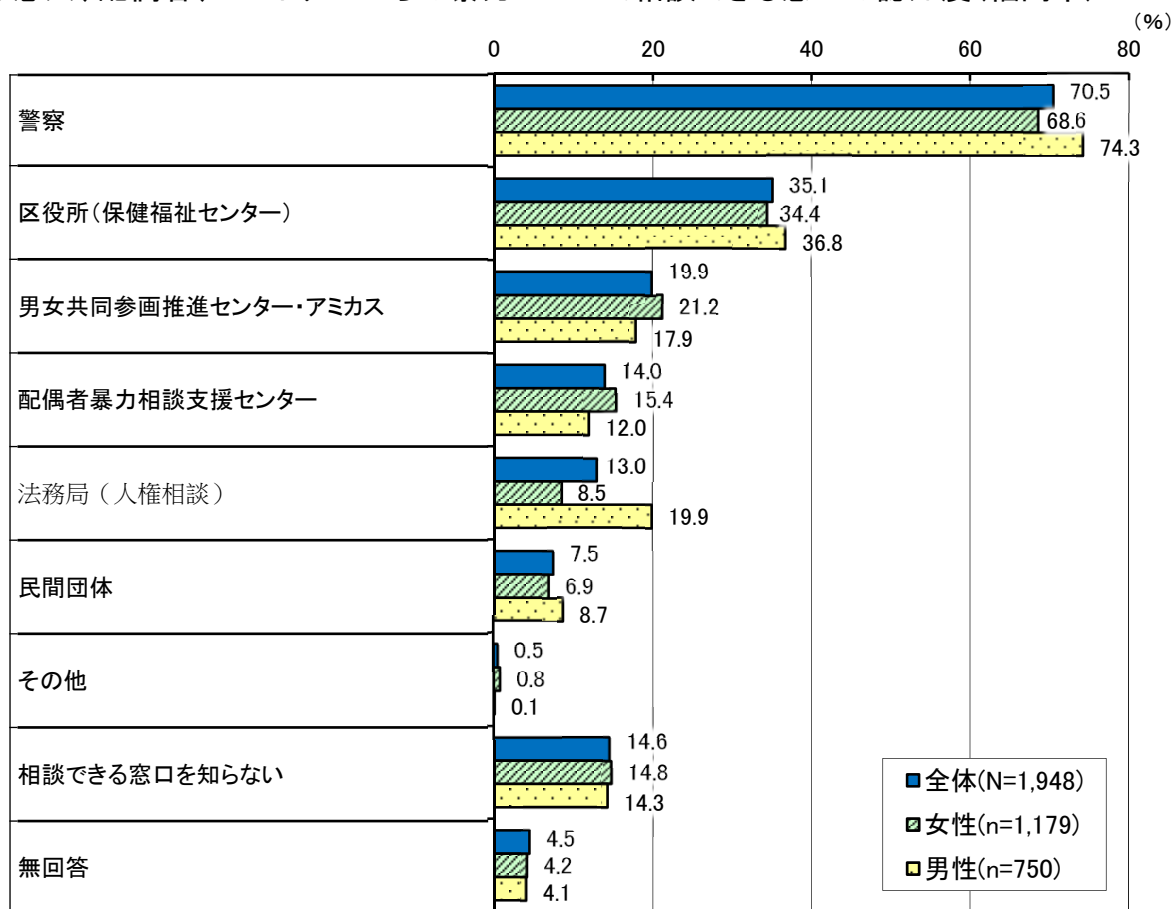
	アミカス相談室		区家庭児童相談室		配偶者暴力相談支援センター		合 計	
	総数	内暴力	総数	内暴力	総数	内暴力	総数	内暴力
22年度	4,624	1,159	4,892	2,567	123	102	9,639	3,828
23年度	4,818	1,167	5,133	2,379	324	296	10,275	3,842
24年度	4,764	1,097	5,301	3,016	395	352	10,460	4,465
25年度	4,210	796	5,449	2,894	416	371	10,075	4,061
26年度	4,878	871	6,201	3,121	420	347	11,499	4,339

注1:区家庭児童相談室の相談件数は、婦人相談件数。

注2:配偶者暴力相談支援センターは平成22年12月から。

資料:市民局事業推進課、こども未来局こども家庭課

○恋人、配偶者、パートナーからの暴力について相談できる窓口の認知度(福岡市)

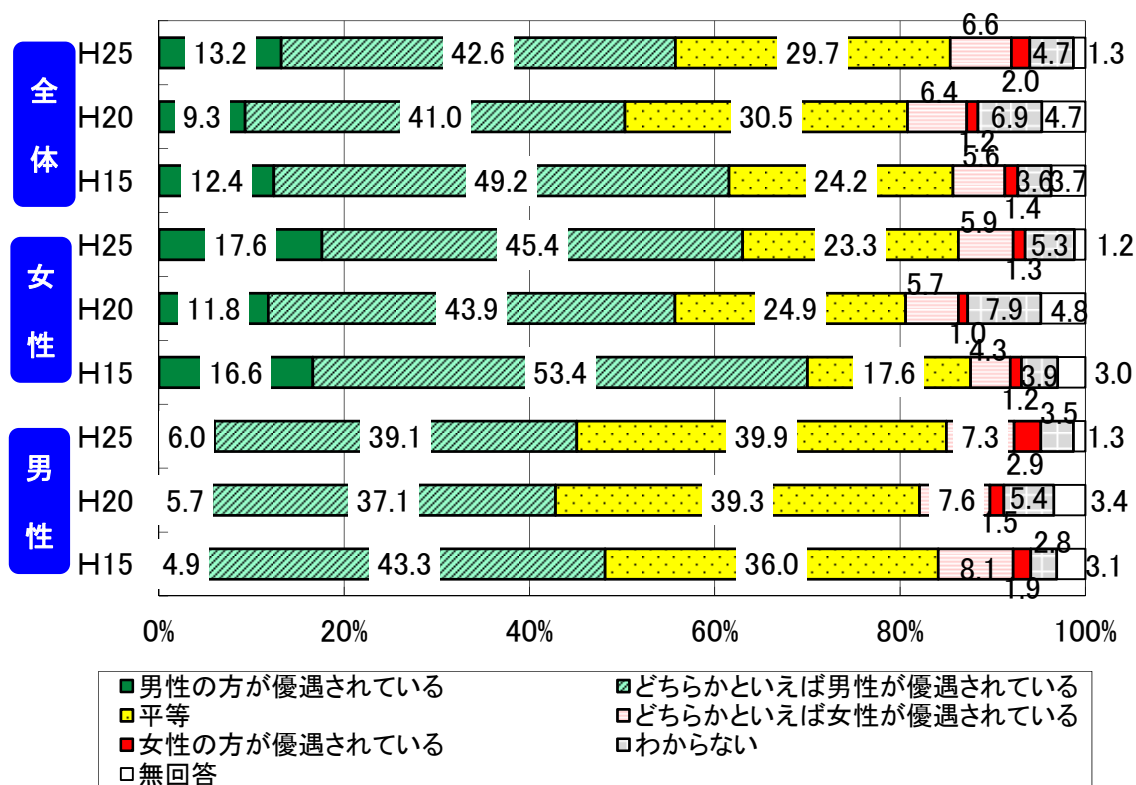


資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標3

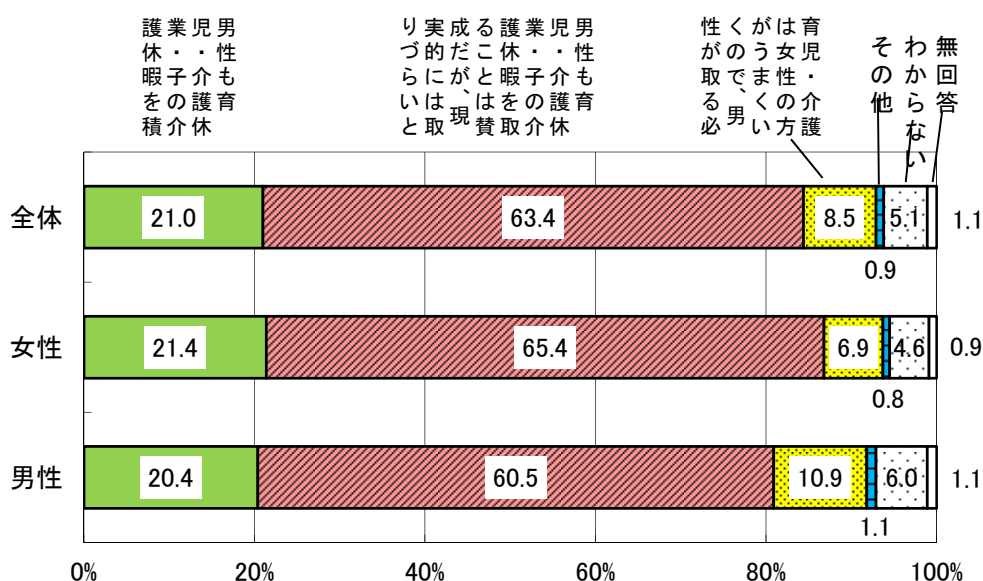
男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

○家庭生活における男女の地位の平等感



資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

○男性が育児休業・介護休業・子の看護休暇を取得することについて

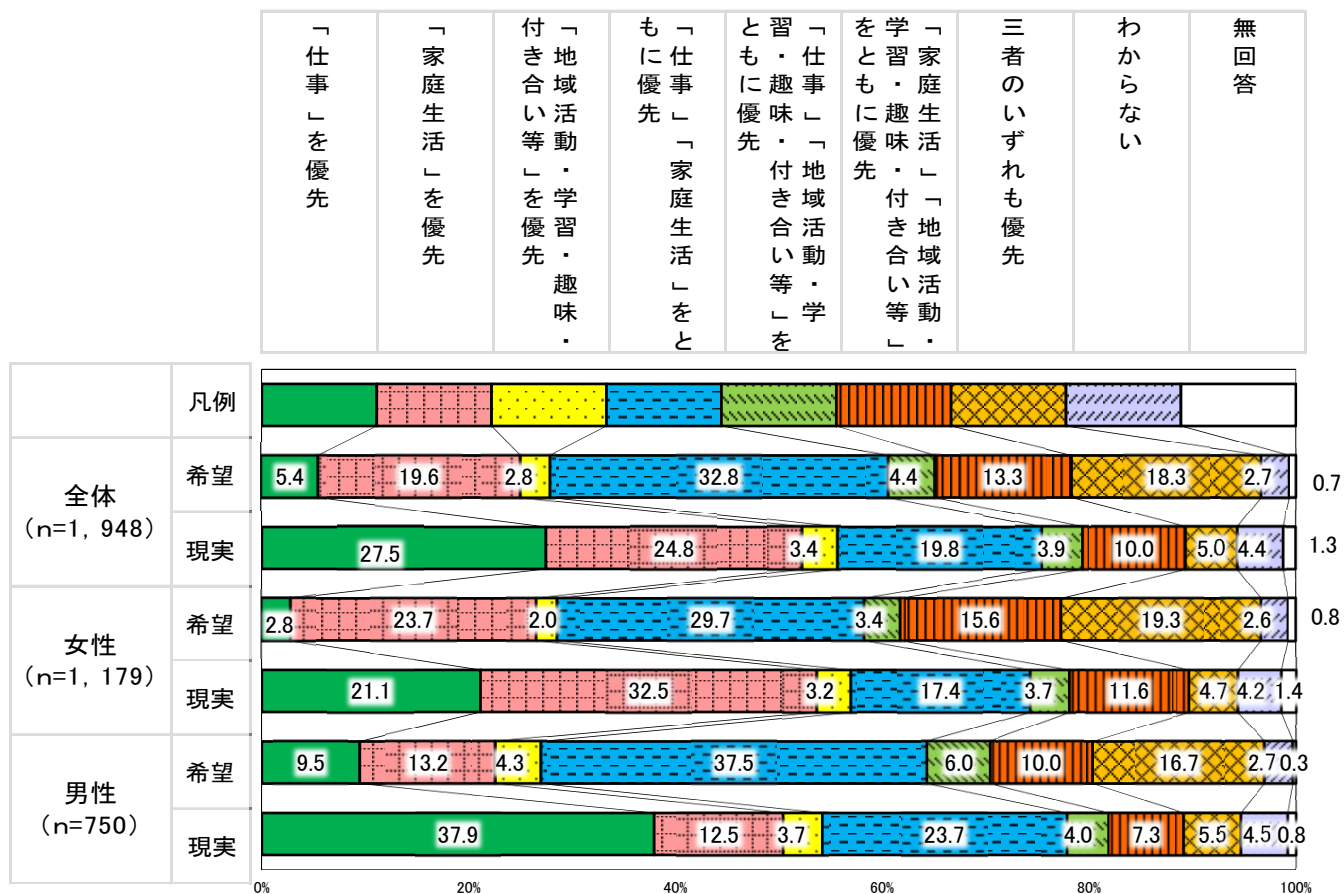


資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標3

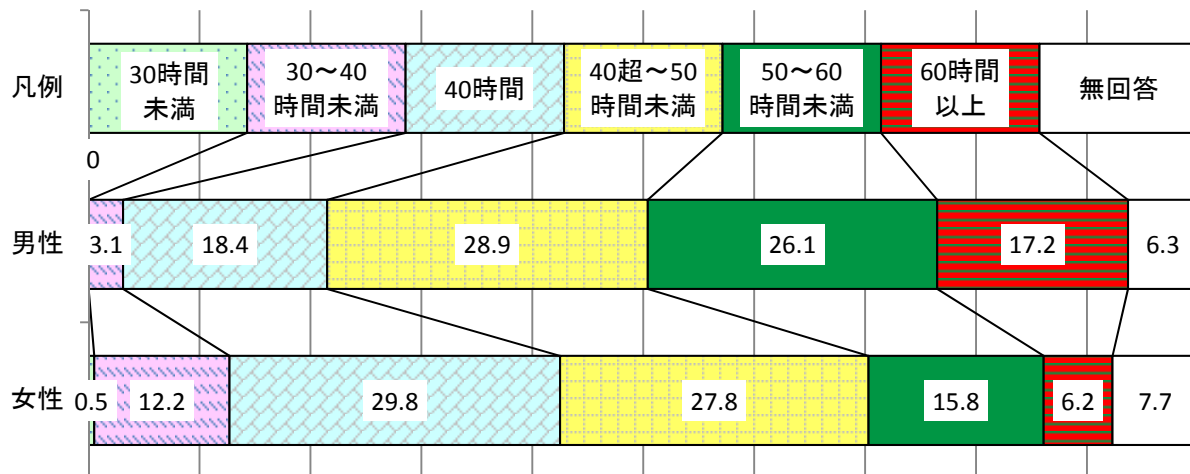
男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

○仕事と生活などの優先度に関する希望と現実



資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

○1週間の合計労働時間



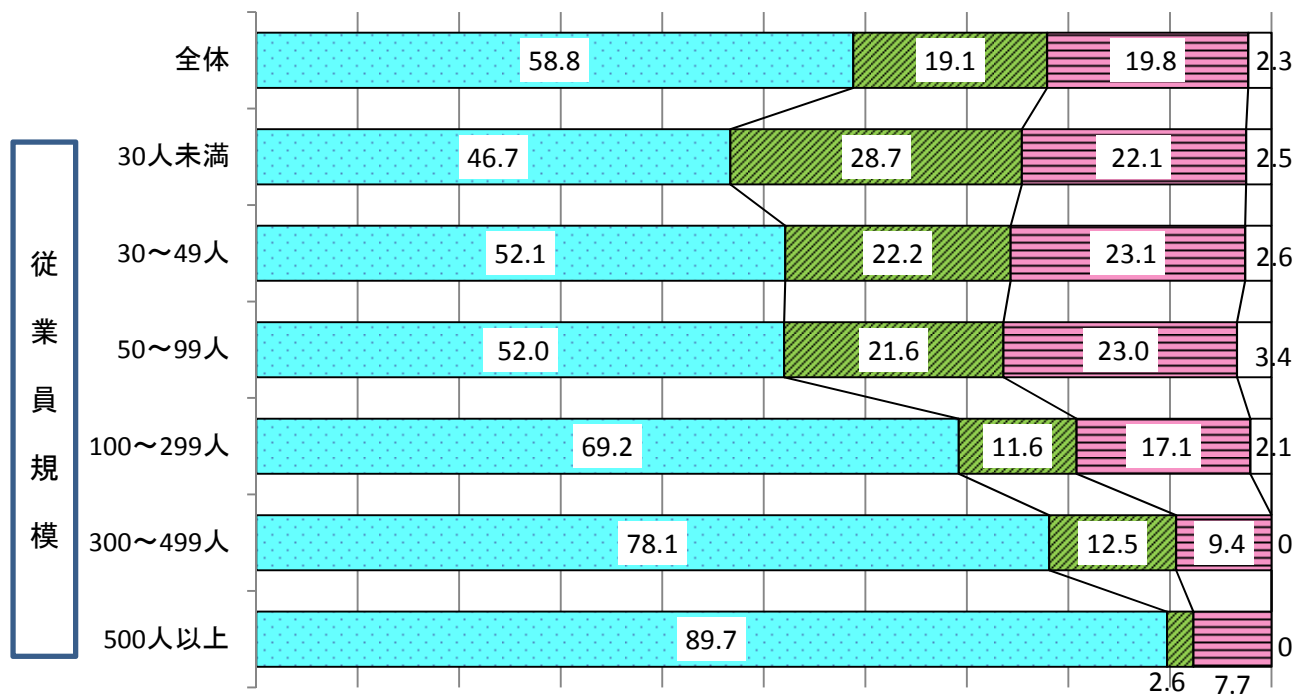
資料:福岡市「女性労働実態調査 平成26年度」

基本目標3

男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

○「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度(事業所)

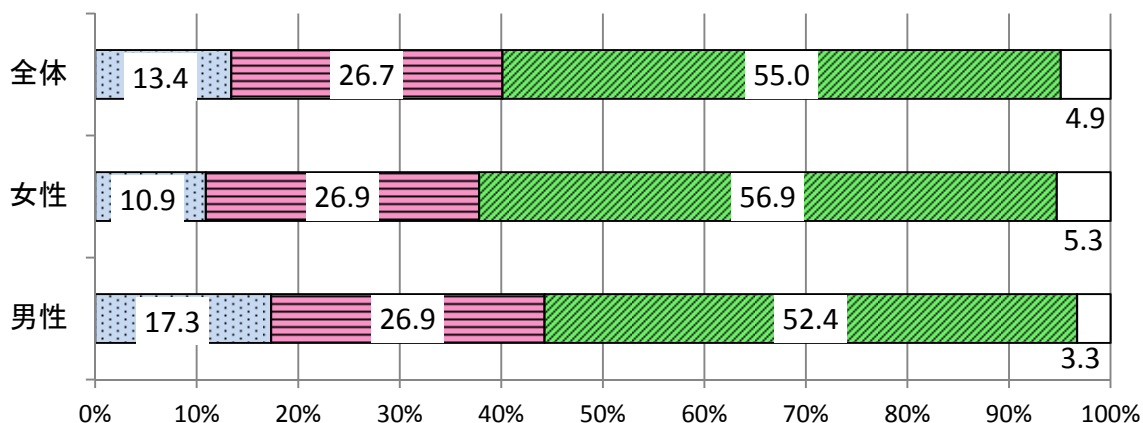
□知っている □知らない □意味までは知らないが、見聞きしたことはある □無回答



資料:福岡市「女性労働実態調査 平成26年度」

○「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度(市民)

□内容を知っている □聞いたことがある □全然知らない □無回答



資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標 4

働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します

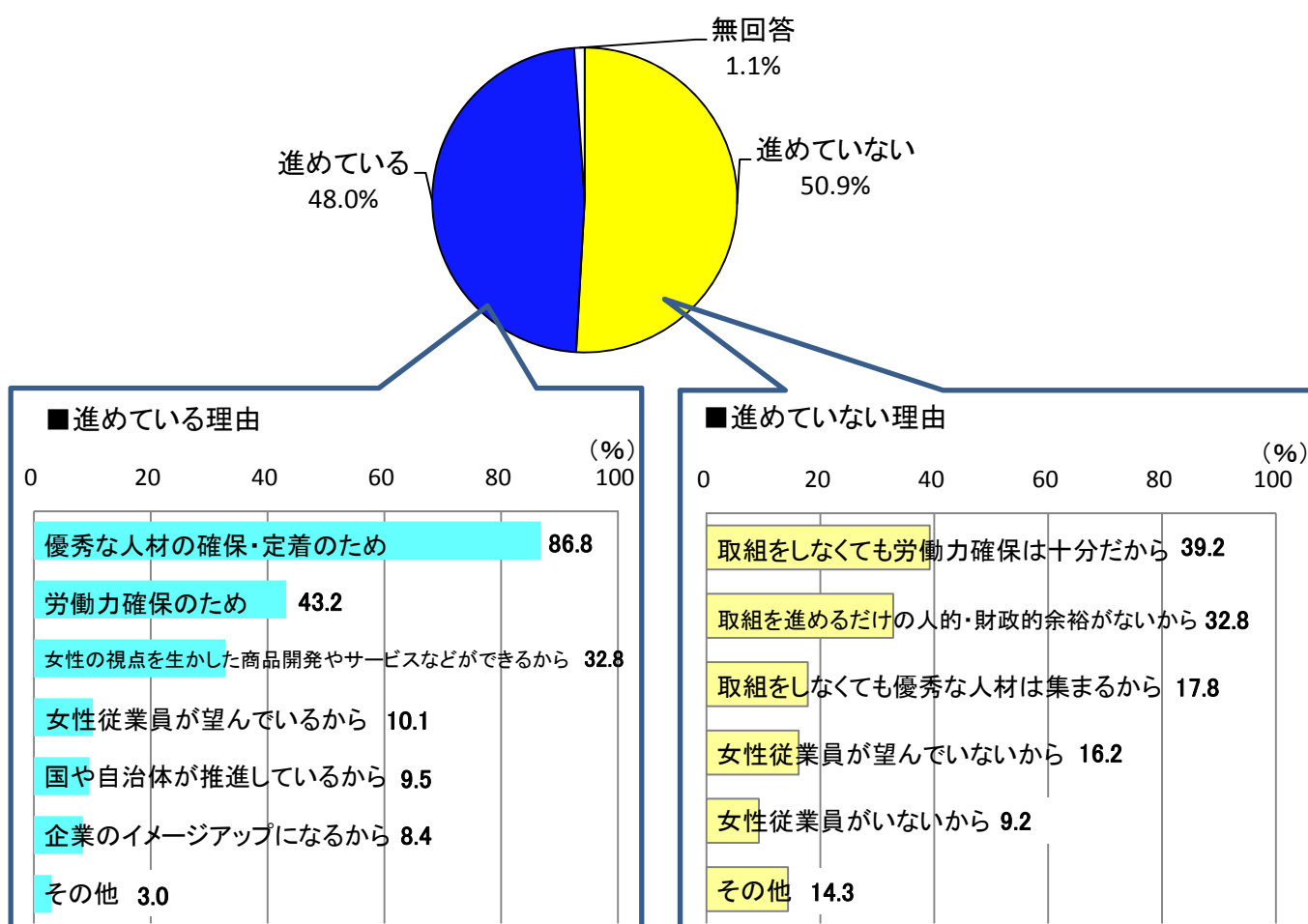
○民間事業所における女性管理職の割合

課長相当職以上(役員除く)に占める女性の割合	10.0%
係長相当職以上(役員除く)に占める女性の割合	13.7%
役員に占める女性の割合	12.6%

■女性管理職(係長相当職以上)が1人もいない事業所の割合 37.8%
※ただし役員は除く

資料:福岡市「女性労働実態調査 平成26年度」

○女性活躍推進への取組の推進状況



資料:福岡市「女性労働実態調査 平成26年度」

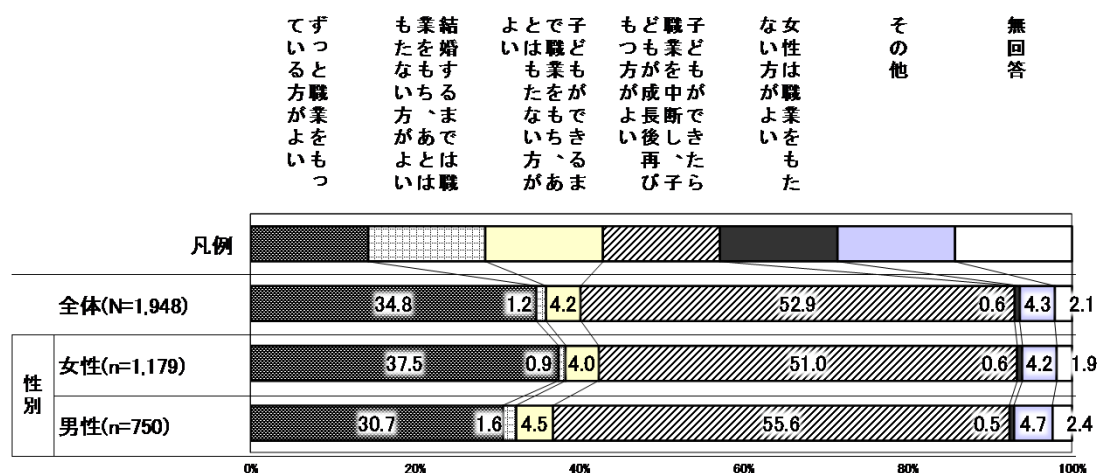
基本目標4

働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します

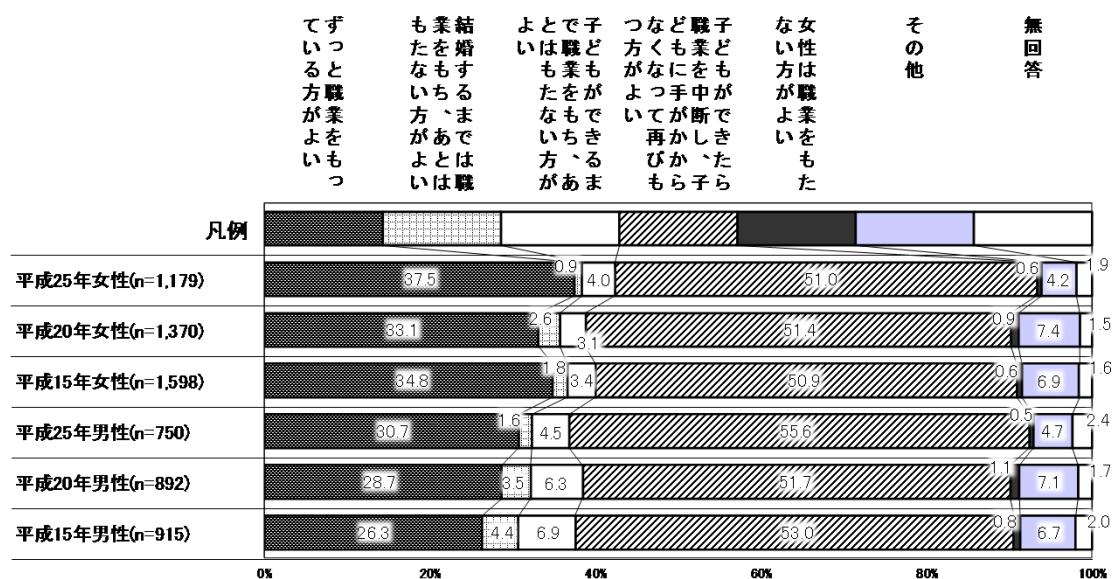
○「女性が職業をもつ」ことについて

- ・「子どもができたら職業を中断し、子どもに手がからなくなつて再びもつ方がよい」が女性、男性とも5割を超えている。また、「ずっと職業をもっている方がよい」が、女性の方が高いものの、男女いずれも3割を超えている。
- ・「子どもができたら職業を中断し、子どもに手がからなくなつて再びもつ方がよい」が全体の半数を占めている傾向が、平成15年、20年から続いているものの、「ずっと職業をもっている方がよい」が男女いずれも平成20年に比べて増加している。

【性別】



【平成15年、20年調査との比較】



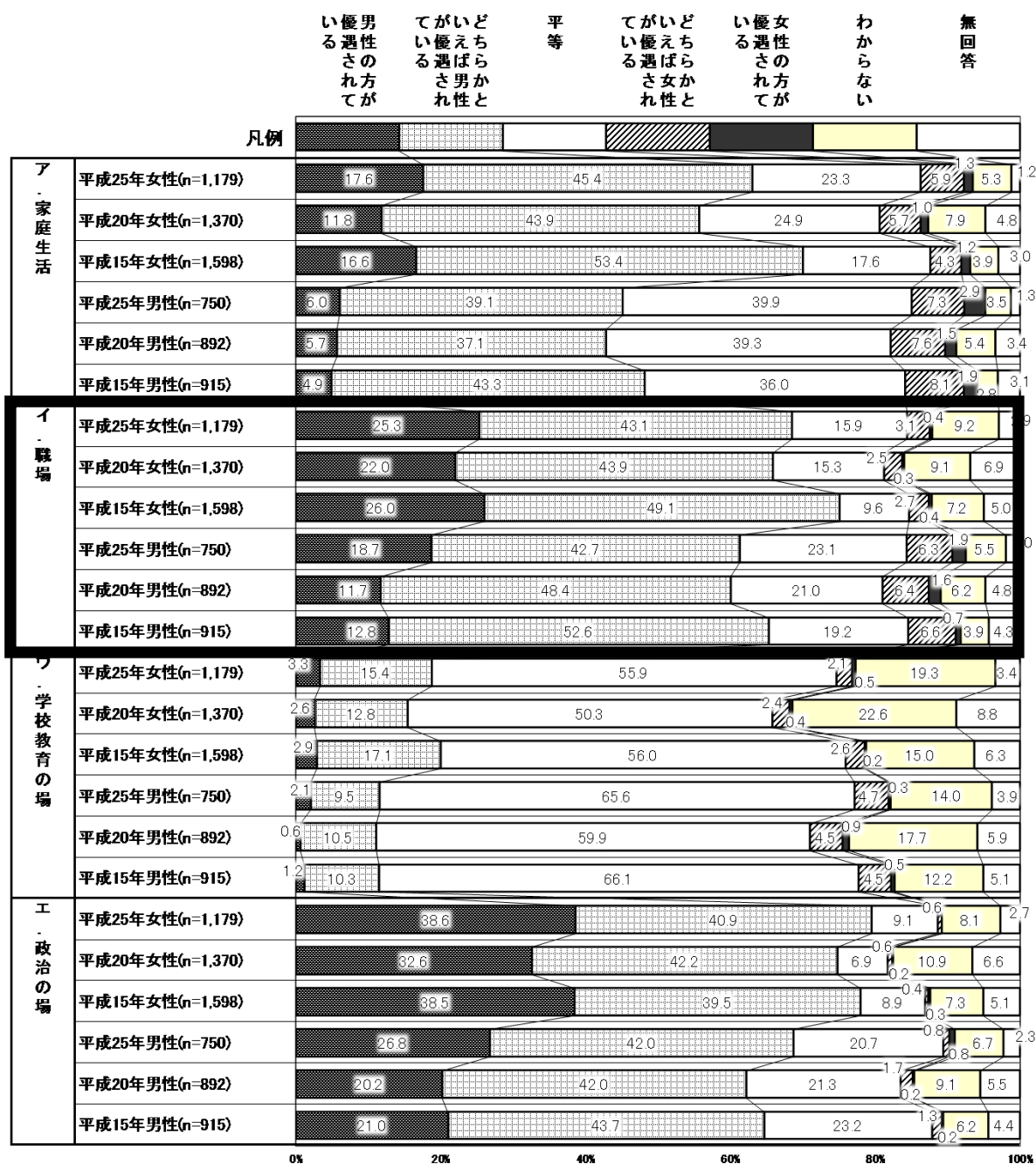
資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標 4

働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します

○職場における男女の地位の平等感【平成20年調査との比較】

- ・職場における男女の地位の平等感について性別にみると、女性の方が男性よりも『男性が優遇されている』との考えが強い傾向がみられる。
- ・平成15年,20年調査と比較すると、男女ともに、平成20年調査では減少していた『男性が優遇されている』と答える人の割合が増加している。



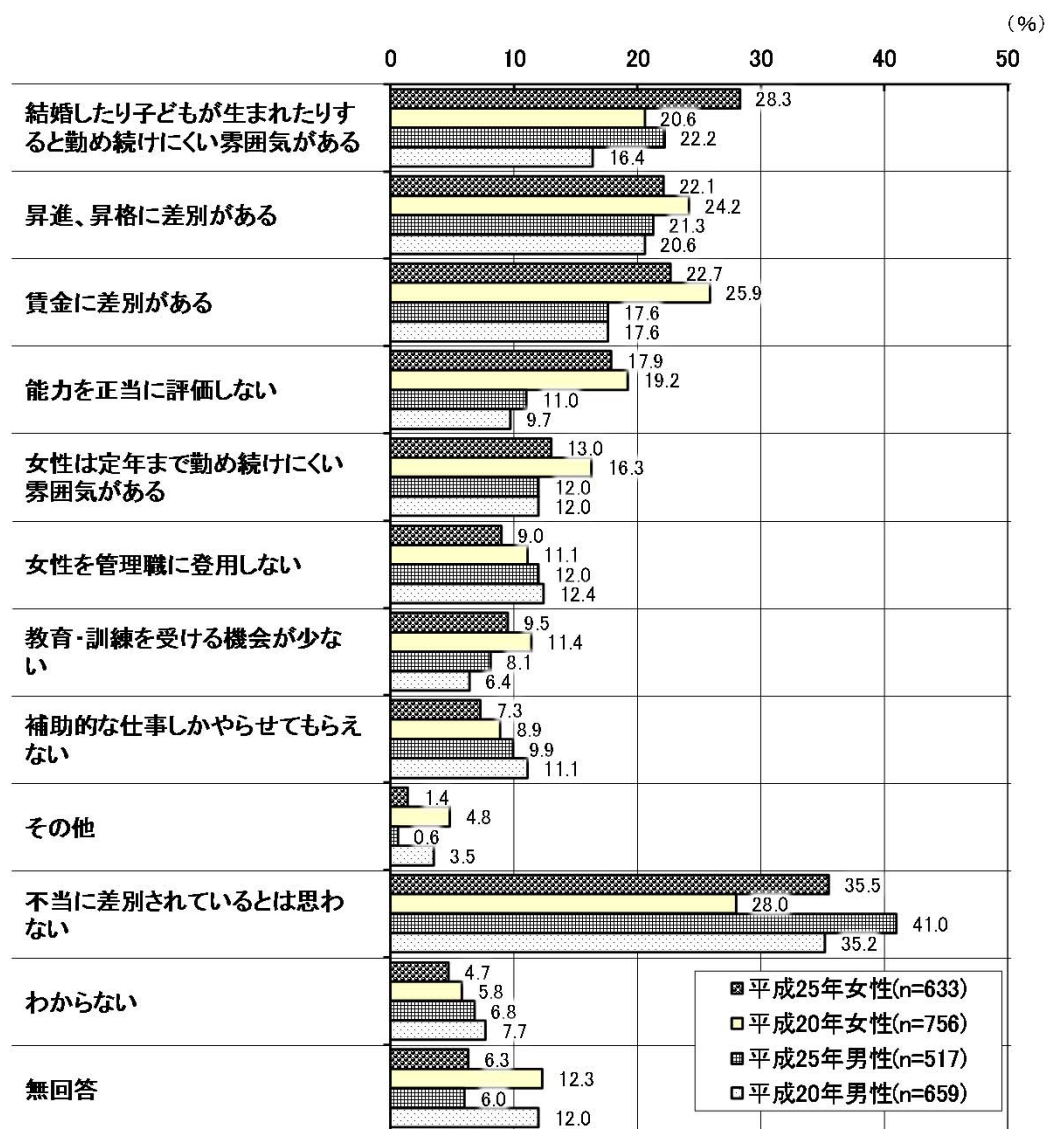
資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標 4

働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します

○現在の職場における男女差別の内容【平成20年調査との比較】

- ・「不当に差別されているとは思わない」の割合が男女とも最も多い。
- ・差別されている内容について性別にみると、男女いずれも「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」が最も多いものの、女性の方が強く思っている傾向がみられる。
- ・「賃金に差別がある」、「能力を正當に評価しない」なども、女性の方が男性を上回っており、女性の方が男女差別を強く感じている。
- ・平成20年調査の結果と比較すると、男女いずれも「不当に差別されているとは思わない」の割合が増加している一方、「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」が、大きく増加している。



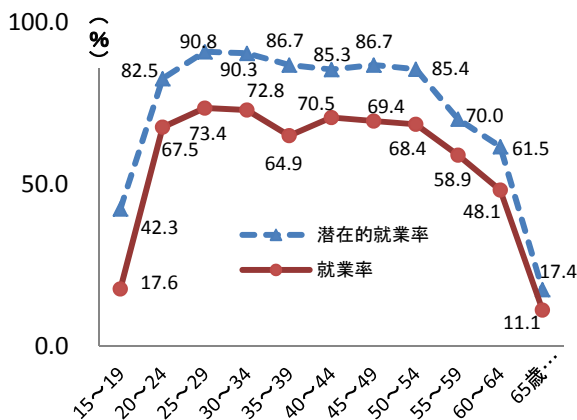
資料：福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

基本目標 4

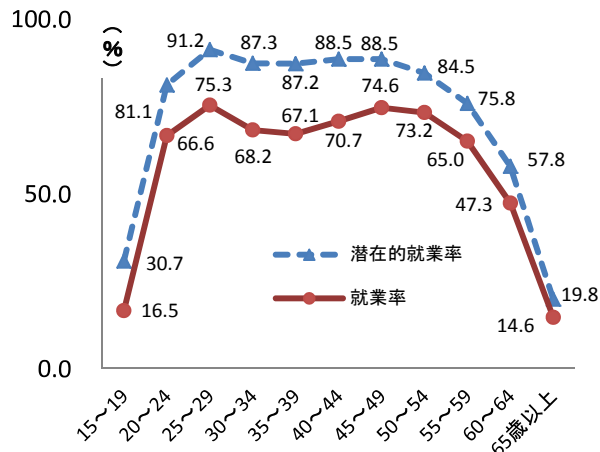
働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します

○女性の年齢階級別の就業率

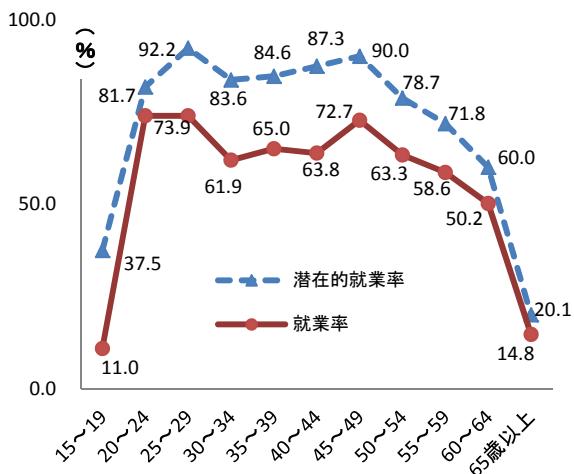
【H24 福岡市】



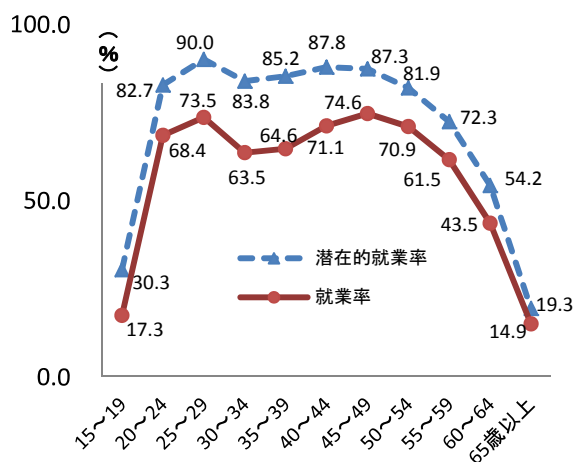
【H24 全国】



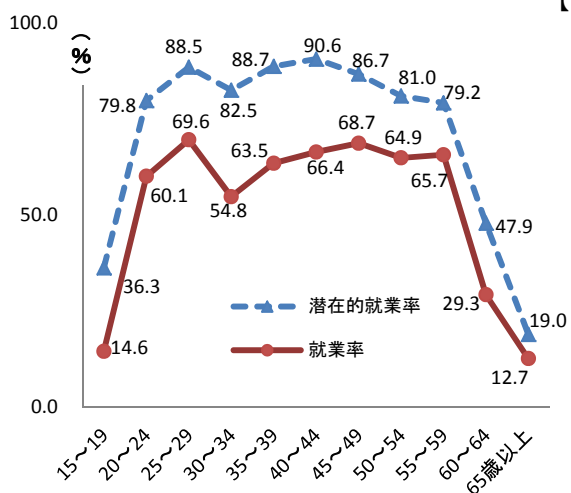
【H19 福岡市】



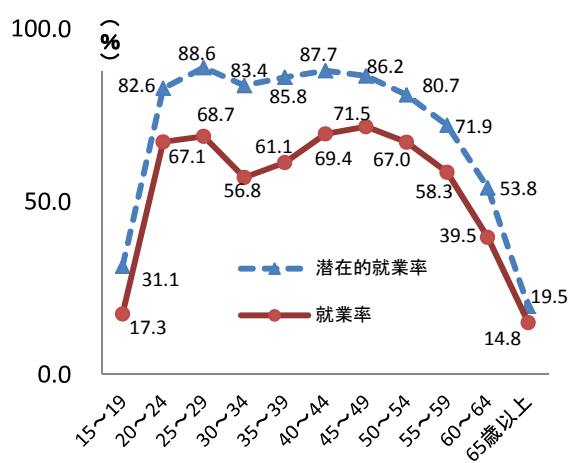
【H19 全国】



【H14 福岡市】



【H14 全国】



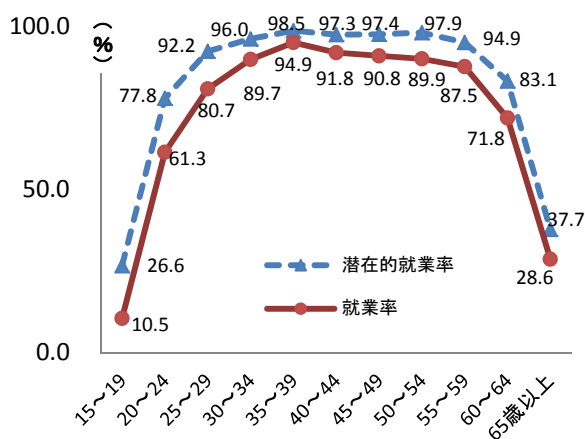
資料:就業構造基本調査

基本目標 4

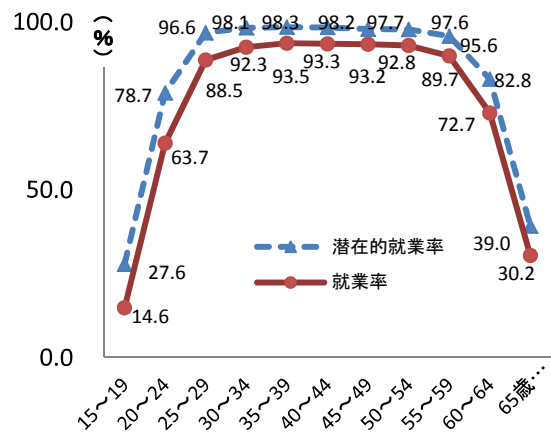
働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します

○男性の年齢階級別の就業率

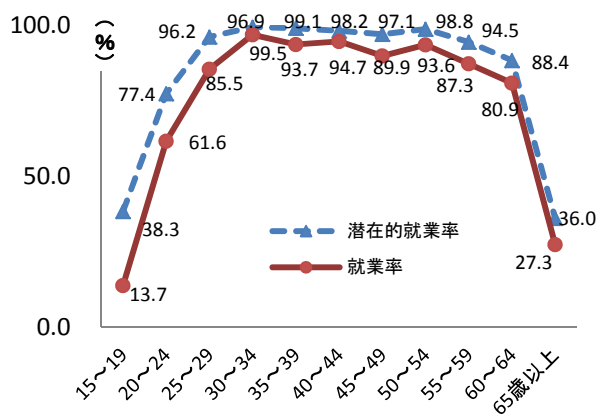
【H24 福岡市】



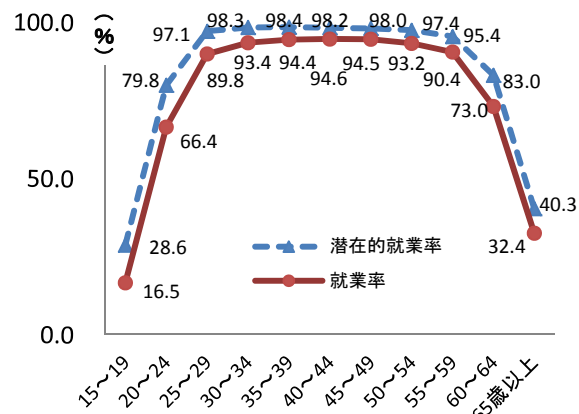
【H24 全国】



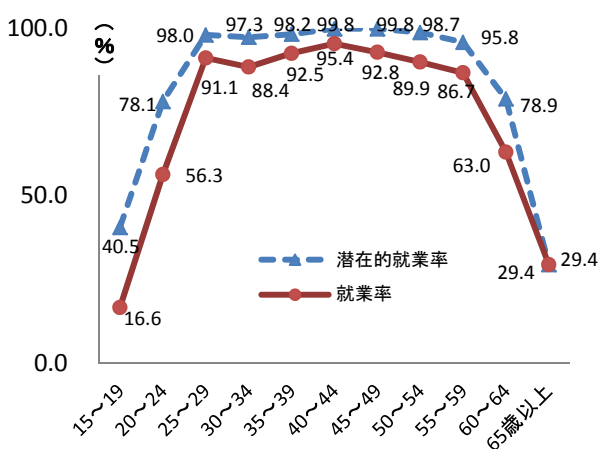
【H19 福岡市】



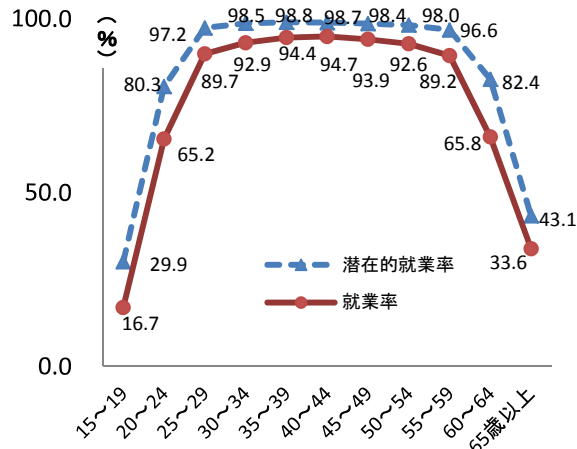
【H19 全国】



【H14 福岡市】



【H14 全国】

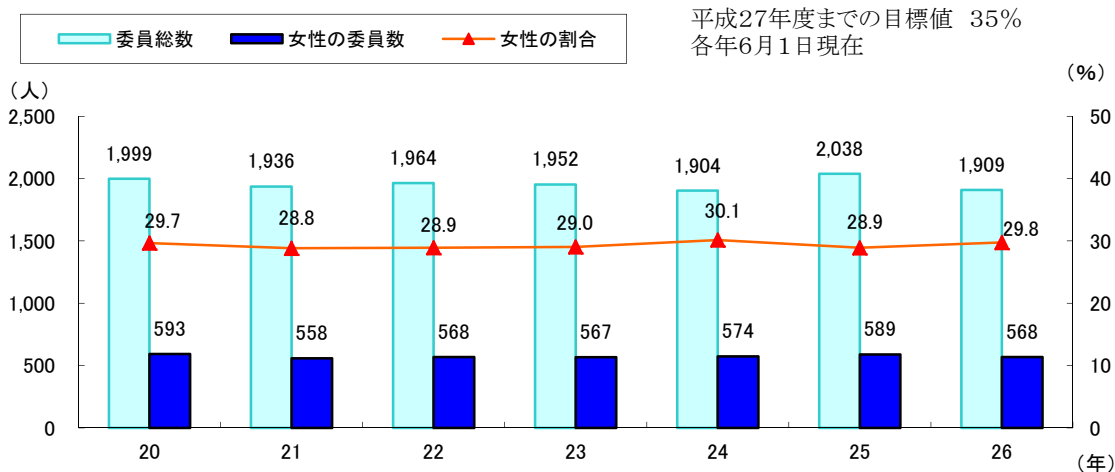


資料:就業構造基本調査

基本目標5

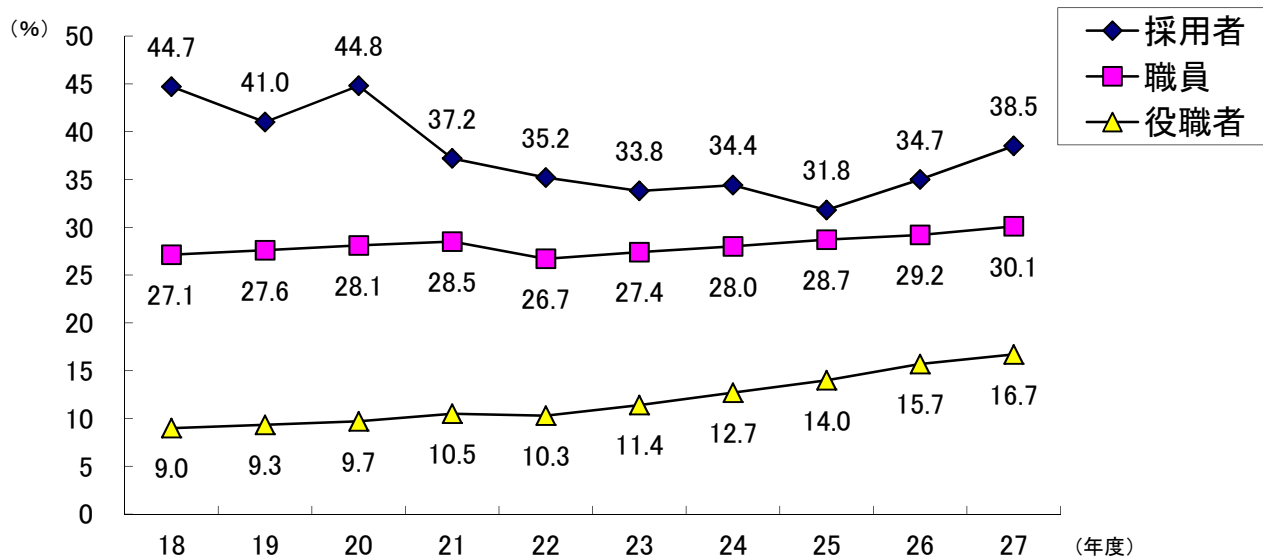
政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

○福岡市の審議会等委員への女性の参画状況の推移



資料: 市民局男女共同参画課

○福岡市職員における女性の割合の推移



注1: 採用者の数は、人事委員会が実施する採用試験(上級、中級及び初級)の一般行政職(ただし、学校事務、文化財専門職及び化学技術は除く)

注2: 採用者の数は採用年度ベース。平成27年度については5月1日現在の数

注3: 職員数及び役職者数は5月1日現在の数

資料: 総務企画局人事課

基本目標5

政策・方針決定過程に男女が共に参画できる社会を目指します

○男女格差を表す指数の国際比較

(1) HDI (人間開発指数)

(2) GII (ジェンダー不平等指数)

(3) GGI (ジェンダーギャップ指数)

順位	国名	HDI値	順位	国名	GII値	順位	国名	GGI値
1	ノルウェー	0.944	1	スロベニア	0.021	1	アイスランド	0.859
2	オーストラリア	0.933	2	スイス	0.030	2	フィンランド	0.845
3	スイス	0.917	3	ドイツ	0.046	3	ノルウェー	0.837
4	オランダ	0.915	4	スウェーデン	0.054	4	スウェーデン	0.817
5	アメリカ合衆国	0.914	5	デンマーク	0.056	5	デンマーク	0.803
6	ドイツ	0.911	5	オーストリア	0.056	6	ニカラグア	0.789
7	ニュージーランド	0.910	7	オランダ	0.057	7	ルワンダ	0.785
8	カナダ	0.902	8	イタリア	0.067	8	アイルランド	0.785
9	シンガポール	0.901	9	ノルウェー	0.068	9	フィリピン	0.781
10	デンマーク	0.900	9	ベルギー	0.068	10	ベルギー	0.781
11	アイルランド	0.899	11	フィンランド	0.075	11	スイス	0.780
12	スウェーデン	0.898	12	フランス	0.080	12	ドイツ	0.778
13	アイスランド	0.895	13	チェコ共和国	0.087	13	ニュージーランド	0.777
14	イギリス	0.892	14	アイスランド	0.088	14	オランダ	0.773
15	香港	0.891	15	シンガポール	0.090	15	ラトビア	0.769
15	韓国	0.891	16	スペイン	0.100	16	フランス	0.759
17	日本	0.890	17	韓国	0.101	17	ブルンジ	0.757
18	リヒテンシュタイン	0.889	17	イスラエル	0.101	18	南アフリカ	0.753
19	イスラエル	0.888	19	オーストラリア	0.113	19	カナダ	0.746
20	フランス	0.884	20	アイルランド	0.115	20	アメリカ合衆国	0.746
		...			...			...
		25	日本	0.138	104	日本	0.658	

(備考) 1. 国連開発計画(UNDP)「人間開発報告書2014」及び世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2014」より作成。

2. 測定可能な国数は、HDIは187の国と地域、GIIは149か国、GGIは142か国。

HDI 人間開発指数 (Human Development Index)

国連開発計画(UNDP)による指数で、「長寿で健康な生活」「知識」及び「人間らしい生活水準」という3つの側面を測定したもの。具体的には、出生時の平均寿命、知識(平均就学年数及び予想就学年数)、1人当たり国民総所得(GNI)を用いて算出している。

GII ジェンダー不平等指数 (Gender Inequality Index)

国連開発計画(UNDP)による指数で、国家の人間開発の達成が男女の不平等によってどの程度妨げられているかを明らかにするもの。次の3側面5指標から構成されている。

【保健分野】妊産婦死亡率、15-19歳の女性1,000人当たりの出生数

【エンパワーメント】国会議員女性割合、中等教育以上の教育を受けた人の割合(男女別)

【労働市場】労働力率(男女別)

GGI ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index)

世界経済フォーラムが、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもので、経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから算出され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味しており、性別による格差を明らかにできる。具体的には、次のデータから算出される。

【経済分野】労働力率、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値、管理職に占める比率、専門職に占める比率

【教育分野】識字率、初等・中等・高等教育の各在学率

【健康分野】新生児の男女比率、健康寿命

【政治分野】国会議員に占める比率、閣僚の比率、最近50年の国家元首の在任年数

基本目標6

地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

○地域における諸団体の長等への女性の参画状況(福岡市)

(各年7月1日現在)

団体名	24年度			25年度			26年度		
	総数 (人)	女性数 (人)	女性の 割合 (%)	総数 (人)	女性数 (人)	女性の 割合 (%)	総数 (人)	女性数 (人)	女性の 割合 (%)
自治協議会(自治連合会)(※)	149	3	2.0	148	3	2.0	149	3	2.0
公民館長	146	30	20.5	146	28	19.2	146	32	21.9
青少年育成連合会(※)	148	34	23.0	148	37	25.0	149	41	27.5
交通安全推進委員会(※)	147	4	2.7	146	4	2.7	146	7	4.8
体育振興会(※)	148	16	10.8	148	11	7.4	146	10	6.8
ごみ減量・リサイクル推進会議(※)	149	21	14.1	149	19	12.8	148	24	16.2
人権尊重推進協議会(※)	144	15	10.4	145	15	10.3	146	20	13.7
社会福祉協議会	145	37	25.5	145	35	24.1	145	40	27.6
老人クラブ連合会	141	11	7.8	142	14	9.9	142	12	8.5
子ども会育成連合会	114	55	48.2	113	49	43.4	105	48	45.7
市立小学校PTA	145	5	3.4	145	8	5.5	143	10	7.0
市立中学校PTA	69	2	2.9	69	4	5.8	68	2	2.9
地区民生委員・児童委員協議会	102	67	65.7	102	67	65.7	104	70	67.3
合計	1,747	300	17.2%	1,746	294	16.8%	1,737	319	18.4%

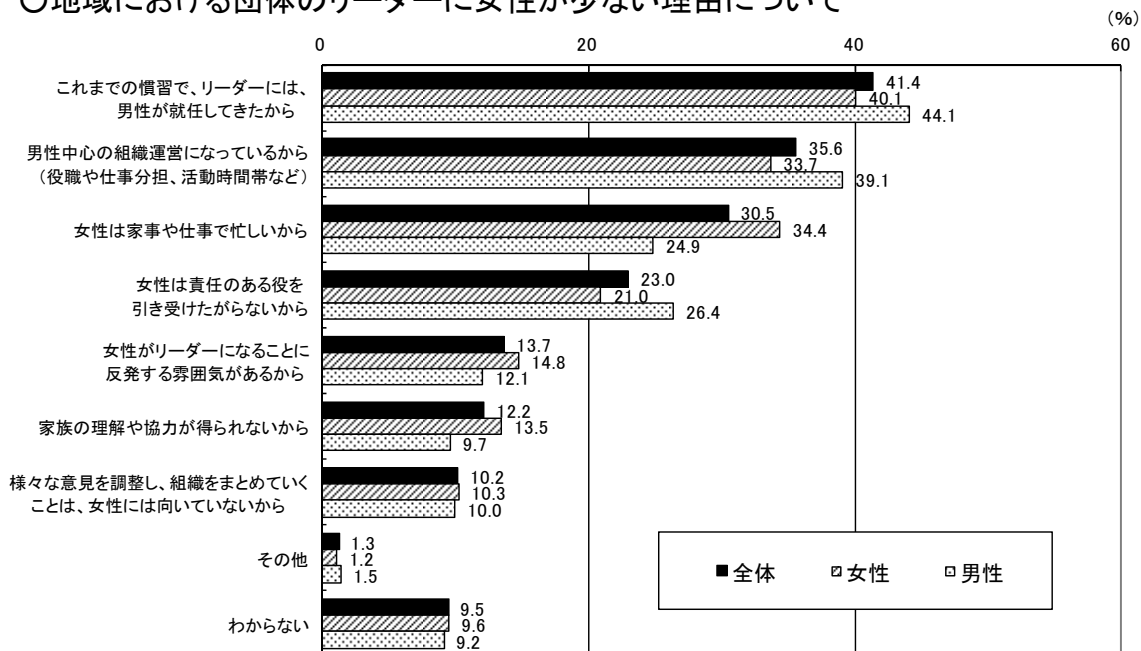
団体の名称は校区により異なるため、一般的な名称を記載。「自治連合会」は「自治協議会」未設置校区のみカウント

資料:市民局男女共同参画課

基本目標6

地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します

○地域における団体のリーダーに女性が少ない理由について

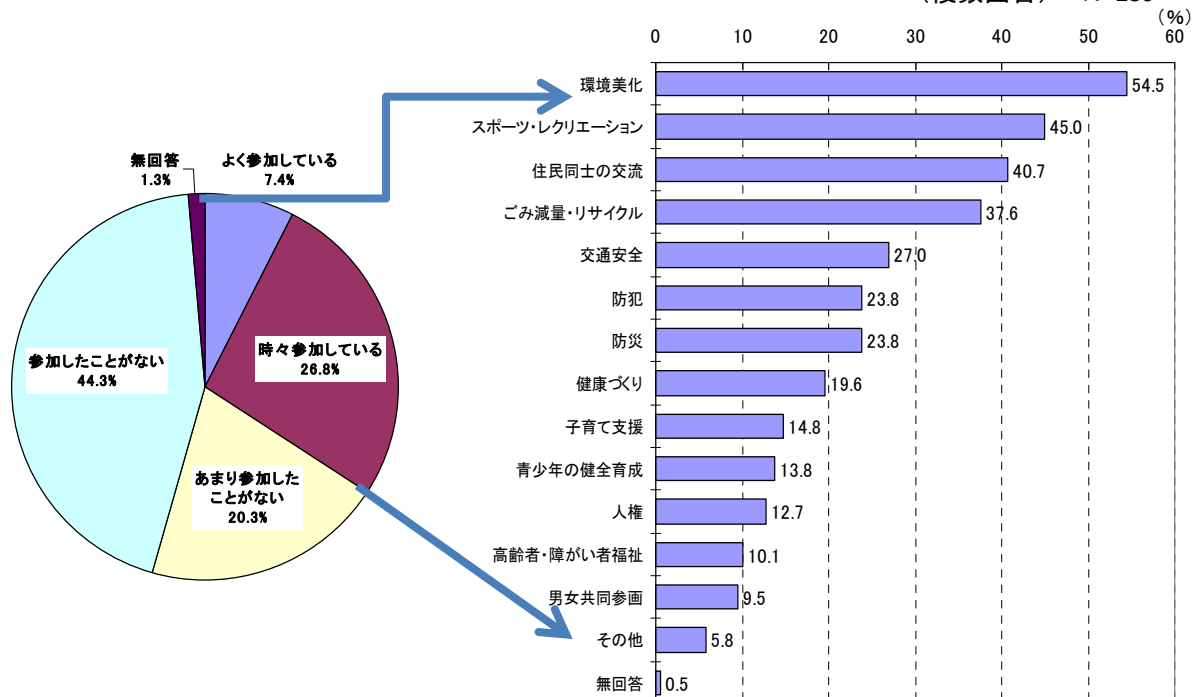


資料:福岡市「男女共同参画社会に関する意識調査 平成25年度」

○過去2年間における地域活動への参加状況

問1: 過去2年間における参加状況 N=553

問1で「よく」「時々」参加した活動内容
(複数回答) N=189



資料:「平成24年度市政アンケート調査」市民局コミュニティ推進課

福岡市男女共同参画基本計画(第2次)数値目標・参考指標の推移

(平成27年6月30日現在)

1. 数値目標

	数値目標		初期値	目標値	現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
①	社会全体で見た場合の男女の平等感 (平等と感じる人の割合)	女 性	9.6%		9.8% (H25)	－	－	9.8%	－		
		男 性	18.3%		21.2% (H25)	－	－	21.2%	－		
		全 体	13.0%	30.0%	14.3% (H25)	－	－	14.3%	－		
②	審議会等委員への女性の参画	女性の参画率	28.9%	35.0%	29.8% (H26)	29.0%	30.1%	28.9%	29.8%		
		女性委員のいない 審議会等の数	12	0	7 (H26)	10	10	8	7		
③	総括主任級職員のうち 30歳代の職員における 男女の割合と同年代の 職員全体の男女の割合	女性	総括主任	36.2%	同等に なる	46.6% (H26)	36.2%	38.4%	41.9%	46.6%	
			職員全体	48.6%		49.7% (H26)	48.8%	49.6%	49.7%	49.7%	
		男性	総括主任	63.8%	同等に なる	53.4% (H26)	63.8%	61.6%	58.1%	53.4%	
			職員全体	51.4%		50.3% (H26)	51.2%	50.4%	50.3%	50.3%	

※資料:①平成20年度市政に関する意識調査、平成25年度福岡市男女共同参画社会に関する意識調査

②男女共同参画課(各年度6月1日現在) ③総務企画局人事課(各年度7月1日現在(年齢は年度末時点))

2. 参考指標

	参考指標	初期値	目標値	現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
①	「男は仕事、女は家庭を守るべきである」という考え方に否定的な人の割合	女性	64.0%	51.1% (H25)	—	65.5%	51.1%	66.0%	—
		男性	59.9%	42.0% (H25)	—	57.8%	42.0%	60.9%	—
		全体	61.6%	47.5% (H25)	—	62.0%	47.5%	63.5%	—
②	配偶者等から暴力を受けたことがある人の割合	精神的暴力	女性	37.7%	40.4% (H25)	—	—	40.4%	—
			男性	25.4%	26.3% (H25)	—	—	26.3%	—
		身体的暴力	女性	13.8%	15.3% (H25)	—	—	15.3%	—
			男性	5.5%	6.1% (H25)	—	—	6.1%	—
		性的暴力	女性	17.9%	20.8% (H25)	—	—	20.8%	—
			男性	4.7%	5.2% (H25)	—	—	5.2%	—
③	配偶者等から暴力を受けた際、我慢した人の割合	女性	38.1%	43.8% (H25)	—	—	43.8%	—	—
		男性	37.8%	48.7% (H25)	—	—	48.7%	—	—
④	家庭生活における男女の平等感(平等と感じる人の割合)	女性	24.9%	23.3% (H25)	—	—	23.3%	—	—
		男性	39.3%	39.9% (H25)	—	—	39.9%	—	—
		全体	30.5%	29.7% (H25)	—	—	29.7%	—	—
⑤	男性も育児休業等を積極的に取得すべきと考える人の割合	女性	21.9%	21.4% (H25)	—	—	21.4%	—	—
		男性	19.1%	20.4% (H25)	—	—	20.4%	—	—
		全体	20.7%	21.0% (H25)	—	—	21.0%	—	—
⑥	男性も育児休業等を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う人の割合	女性	64.0%	65.4% (H25)	—	—	65.4%	—	—
		男性	59.9%	60.5% (H25)	—	—	60.5%	—	—
		全体	62.1%	63.4% (H25)	—	—	63.4%	—	—
⑦	職場における男女の平等感(平等と感じる人の割合)	女性	15.3%	15.9% (H25)	—	—	15.9%	—	—
		男性	21.0%	23.1% (H25)	—	—	23.1%	—	—
		全体	17.6%	18.6% (H25)	—	—	18.6%	—	—
⑧	女性の年齢階級別の労働力率・潜在的労働力率	下図参照							
⑨	地域における女性の参画状況	16.1%	—	18.4% (H26)	15.7%	17.2%	16.8%	18.4%	—

※資料:①～⑦平成20年度市政に関する意識調査、平成24年度、26年度福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査、平成25年度福岡市男女共同参画社会に関する意識調査 ⑧平成19年度、24年度就業構造基本調査 ⑨男女共同参画課

女性の年齢階級別の労働力率・潜在的労働力率
(H19)



(H24)



福岡市男女共同参画基本計画(第2次)重点評価項目の数値目標、参考指標の推移

(平成27年6月30日現在)

「重点評価項目 進行管理票」に記載している数値目標、参考指標

	数値目標、参考指標	初期値 (H22)	目標値 (H27)	現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
①	男女平等教育副読本 利用率	91.8%	100.0%	96.6% (H25)	95.1%	93.8%	96.6%	92.3%	－
	小学校 中学校	43.5%	50.0%	39.1% (H25)	32.8%	33.8%	39.1%	50.7%	－
②	福岡市DV相談件数	3,828件		4,061件 (H25)	3,842件	4,465件	4,061件	4,339件	
③	DV相談についてのカード・リー フレット・ステッカー配布箇所数	212		541 (H25)	548	533	541	542	
④	社会貢献優良企業優遇制度 (次世代育成・男女共同参画 支援事業)認定企業数	22		87 (H26)	27	57	73	87	
⑤	“「い〜な」ふくおか・子ども週 間”賛同企業数・団体登録数	856	1,500 (H26)	928 (H25)	948	900	928	954	
⑥	保育所入所定員	25,104人		30,018人 (H25)	26,264人	27,664人	30,018人	31,980人	
⑦	保育所待機児童数 (各年度4月1日時点)	489人	0人 (H26)	0人 (H26)	727人	893人	695人	0人	61人
⑧	審議会等委員への女性の参画率	28.9%	35.0%	29.8% (H26)	29.0%	30.1%	28.9%	29.8%	
⑨	アミカス女性のチャレンジ支援 のための講座の参加者数	1,526人		1,941人 (H25)	2,334人	1,964人	1,941人	2,891人	
⑩	「みんなで参画ウィーク」の取組 みを実施した校区数	23校区 (H23)	146校区	136校区 (H26)	23校区	120校区	138校区	136校区	

※資料: ①④⑧⑩男女共同参画課 ②③こども家庭課 ⑤こども未来局総務企画課 ⑥⑦保育課 ⑨事業推進課